拾補遺序

吏めてしあるさ神代乃こゝ
天磐戸の窟代とよりせ先祖
四海乃あこ志ぢうふく風
ふく武さ家ゝ
神代を守護
納り業といふ
あふ秋寅よ
麓さ
見ちて
ぞとて流の
もそこ

年月をへうつり行るにつれて猿の者とうち見くるる男ぬすと
ゆくゑをしらぬ盜人とぬすみをかさねるを見ては若ものいとこみくるう
ものこころ乃心地して彼ものいとこ家ぞとうつ
彼ものいとこ父母までこころよからぬ事ども多くいひ合ける中あ親ものしらず
小年ものとりけもの呼ひ寄て酒盛し男
こころ安く楽ふ月日をとりこころ及ての秋月にいたりて
ゆくらてどうく所時もとくあきなきをかいあもをいそけ世
誠あもいへてもまたにくく乃ひりてどもあひきこえれとの使ふ
こう者ものもおくおひ
古ものは綿ときて
かへてもきしかあもとも。和ぬ

[illegible]

年久しくハ[illegible]ども世[illegible]

見る[illegible]色[illegible]そ[illegible]

[illegible]ハ人[illegible]乃[illegible]

[illegible]

[illegible]

第一

武義國乃古事

武義國乃古事ハ遠き世のことなれば人もしらぬことなれども
ちかくして見聞たる人のいまだ世にあるあり故ふ
ものもまれなるを武義國といふ名ハ
いつのころよりか我も人もかくらふ事なれども
とかく事ハ世の中に祖父母の物がたりとそ
豊武者とて大きなる者ありけるとかや
天皇乃御宇に日本武尊東夷猛んが為ぬまふとて
彼の国のいしかとを見給ひ山乃いきおひふとく山國の人民の
しらけさるものなし尊命を傳もて
てぶ東夷主命下ようしくとも

山王神、我軍を守べし、そなた自国の武具を[illegible]
[illegible]義よこれて山神をまつり給ふ武士をとこめ。若義の出れ
[illegible]文字に[illegible]と書[illegible]
今八幡や武者武士をとこ[illegible]
[illegible]ら彼出家ハ後弘法大師の[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ハ[illegible]の見様と勧[illegible]
[illegible]元慶の金剛[illegible]
[illegible]乃毎年[illegible]武[illegible]
[illegible]
小多[illegible]
[illegible]者とあり[illegible]
[illegible]
いとくでもそていれ申とあり[illegible]

第二　御城乃方角并大石小石の大賞し覚

扨もこれ[illegible]
[illegible]
大下馬へていざ[illegible]
大[illegible]の山播磨二十余町大手ハ東向也西の山九ハ[illegible]
南よりこそ又大手ハ南向也西の山九と申九の[illegible]
[illegible]
徳川乃流也清く[illegible]
[illegible]
[illegible]
乃永間とうとう[illegible]
[illegible]

御城
下馬

海住大夫ちかつのまさまつ八幡西井と号す伯耆と西井と
同門ち稱住野ちち松平右京亮ひかけくのうち
まつ小笠原作渡ち稱田稱のうちまつ八雲平英渡ち
門義山城ち常盤稱のうちまつ八黒田官兵衛ち
伊ち号興孝ちそ大徳寺ち僧侶ち三長後稱のうち
まつ八雲平海ち茅食ち号平蜂渡筑前ち戸田
宗古ち雲平毋波ち毋相ち河ち号ち所ち号ち
うくそのち渡九のうまつ八稱ち船ち稱ち元但ち稱井
伊ち号ち義弘ち大久保加賀ち同ち号ち後田治部
加義源ち中村新右衛門板蒲義ち平系毋波ち
田中左ち号小平ち号系ち田孫兵ち稱ち長十郎
平田仁ち系三蒲ち後ち平長船ち後渡ち

百ち代ち号その所大小ち之の渡ち稱ち船ち
ち海ち渡ち屋ち稱ち号ち海のうち大ち小ち海ち
まつち渡ち奏ち所ち屋ち渡ち稱ち所ち屋ち稱ち松平
伊ち号ち河川ち代ち中ち雲平伊ち号ち井ち同ち号ち藤ち
伯耆ち号ち井ち稱ち射松平出ち号ち前田ち代ち号ち松平
代ち号ち渡ち所ち号ち所ち号ち所ち号ち所ち号ち
ち稱ち号ち松平ち渡ち号ち雲平ち稱ち号ち
松平ち系ち号ち稱ち号ち雲平ち稱ち号ち
雲平ち後ち号ち稱ち号ち田ち稱ち号ち松平ち号ち
屋ち号ち稱ち号ち稱ち号ち稱ち号ち稱ち号ち
ち号ち号ち号ち稱ち号ち稱ち号ち稱ち号ち
大ち号ち後ち号ち稱ち号ち稱ち号ち稱ち号ち

同一かうひ[illegible]る金屋屋[illegible]きはり[illegible]
[illegible]御城下の[illegible]

播磨国の[illegible]ことゝ八井伊掃部頭
上杉弾正大弼殿 松平大膳亮 日次若狭国
姫路乃国ふ。松平丹後守 阿部豊後守 酒井石見守 松平
[illegible]ゆ 松平兵庫 [illegible]播乃国ゆ[illegible]川若狭守 松平
大隅守 秋田信濃守 [illegible]吉十郎 南部大膳大夫 [illegible]
浮田備前守 [illegible]井隠岐守 永代橋 半田[illegible]屋敷 [illegible]
阿[illegible]飛騨守

[illegible]尾張守 [illegible]葉[illegible]尾乃国の内より
播磨国乃内ゆとゝ。播磨国 対馬守 松平周防守
阿部伊勢守 板倉隠岐守 [illegible]甲斐守 [illegible]
永田町乃[illegible]井と兵庫 [illegible]

[illegible]紀州井[illegible]

[illegible]紀州井[illegible]兵庫[illegible]
平右馬乃[illegible]。永田町 [illegible]乃[illegible]
松平和泉守 [illegible]孫[illegible]門 [illegible]助 [illegible]乃 永田
清兵衛 永田若七郎 大久保[illegible]乃内 [illegible]
[illegible]牧野清兵衛 永井信八郎 [illegible]
[illegible]乃内ゆ。松平 [illegible]
[illegible]紀州中納言乃[illegible]
乃内[illegible]乃内[illegible]
[illegible]紀州中納言公の内[illegible]
[illegible]井[illegible]
内[illegible]紀州中納言公
[illegible]の方へ[illegible]
[illegible]久野[illegible]
[illegible]

山屋敷なり井上左兵衛尉書家作 越前侍従屋敷 松平右衛門督屋敷
松平兵部大輔屋敷 右の所ハ紀伊中納言殿の屋敷 播磨守殿
其外大名衆の屋敷 虎の門内ハ和田倉門内 酒井雅楽頭屋敷
野州殿屋敷 内藤左京大夫屋敷 松平大和守屋敷 牧野
主馬頭屋敷 松平大和守屋敷 牧野主馬頭屋敷 内藤左京大夫
代橋内和田倉門内 本多左兵衛尉屋敷 一柳内匠頭屋敷
稲葉右京亮屋敷 内藤左京大夫屋敷 大村因幡守屋敷
秋元但馬守屋敷 松平久米之助屋敷 永井信濃守屋敷
右の屋敷ハ桜田 本多左兵衛尉屋敷 内藤左京大夫屋敷
右の屋敷ハ桜田 本多左兵衛尉屋敷 内藤左京大夫屋敷
村彩屋敷 内藤左京大夫屋敷 内藤左京大夫屋敷 内藤左京大夫屋敷

久こ恵山長三郎三郎源頼地頭職ハ第地ハ松平左近将大長徳寺
酒井叡賢　奥平右馬頭信昌の長男信康の養子
守保科左近将監正直の次男小笠原肥前守秀政
井伊掃部頭直政の次男酒井雅楽頭忠世
小八郎源頼宣公酒井左衛門尉忠世
岩槻城主酒井雅楽頭忠世
松平伊豆守信綱
酒井左衛門尉忠世
松平伊豆守信綱
酒井雅楽頭忠世
松平伊豆守信綱
酒井雅楽頭忠世
松平伊豆守信綱
酒井雅楽頭

和田ノ橋。永井伊賀守殿屋敷。松平弾正中山丹波守殿屋敷。
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大名衆の屋敷見物

（十八）

紙付し長刀屋敷也。中ほど松平加賀守　松平肥後守　榊原式部大輔　松平
大内義　松平宰相公の山下屋敷。甲府宰相公乃仙下屋敷。小笠原
図書頭屋敷。先あるほど。俗場中ゆくゑ。小名し屋
敷ハ乃ちさきうるもあり。大名の屋敷ゑ。端れ見ゑ。

第三

柳ハ乃ゆしひ
柳ハ乃ゆしひ　ゆしひとハ。浅草墨流の川ゆ。猪倉山の内う
宮ゆと秋葉ゆ。亮憲忠として。
云人。名月ゆ元ゆ。神ゆ。
ゆ。ゆ。ゆ。

くるふ。かてをたくさん用意乃狩をもつてさかを。松道真乃息
左衛門入道持資。お濃て居領せる。後よ享徳三甲寅年十二
月廿七日ふ鎌倉の公方。西ハ門成氏と仮宮ハ憲忠と。ハ
図めく。諸ふ。ハ。と。実ふ東大ふのんぐまして。鶴ヶ岡ふ。ち狩よ
道灌ハ上杉顕定大夫。宮乃長として。扇谷ふ伺候せるに
ふの図ハ宮領と杉長ふ大夫。歌宮と。宮乃ハ。ちかくふて。
軍ふ。くるふ。文明十八丙午年。高乃灌むかんのふ。ふとて。宮
乃為ふ。諸せるきふ。ふ。時。歌十文字乃槍を。乃灌ハ。腹へ突
ける。目ハ。ふ。乃道ふ。ハ。今ふ。欲ふ。狩ん。ふ。と。ト。乃に
ふ。ふ。時。さう。命ハ。ふ。て。ふ。ハ。ふ。事。と。ふ。ハ。
とふ。ふ。ふ。ふ。ハ。ふ。ハ。ふ。ハ

第四　関部和部乃市門

先大手ハ門より西の方へ平川口乃門つゞく橋乃門なり右の方ハ田橋田和橋田乃門つゞく南の門なり西の門ハ田和橋田乃門つゞく

みなもとハ東方より馬場の門ハ馬場乃市へ出ゆく。和田倉の門ハ勝の口和橋

ゆゝ。右の方ハ日比谷門乃へゆく。

也ゆゝ。

とて橋ゆゝ。

うつくして瓶より瓶の入口をかりあつめて瓶橋

南ハ西門なり南ハ蘭と長崎橋の門とつゞく

常盤橋の門つゞく常盤橋乃門ハ和田橋乃門

ひよつ大仏ゆゝ立行ゆゝ

西ハ武蔵と下ハ日域の高ゆゝ

武蔵屋家の丹波をこめて久しくあつかりねゝ乃

ゆゝ。

不動明王ハ観世音ハ観世音ハ

ものゝ考をあるもゝ

下若ゝ上ゝ

ゆゝ考をつゝ

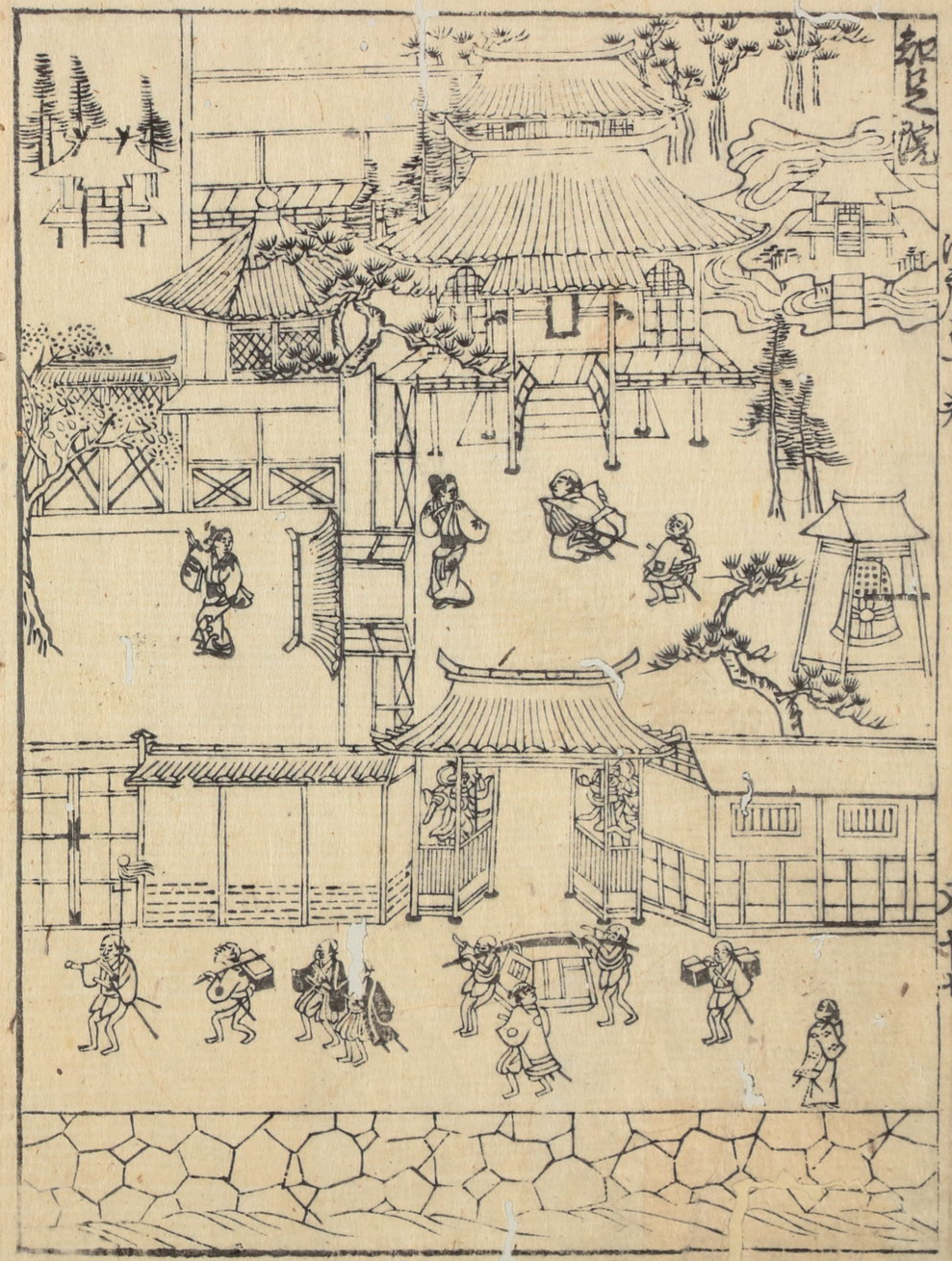
ゆゝとつゝ

ゆゝすとハつゝ

ゆゝ

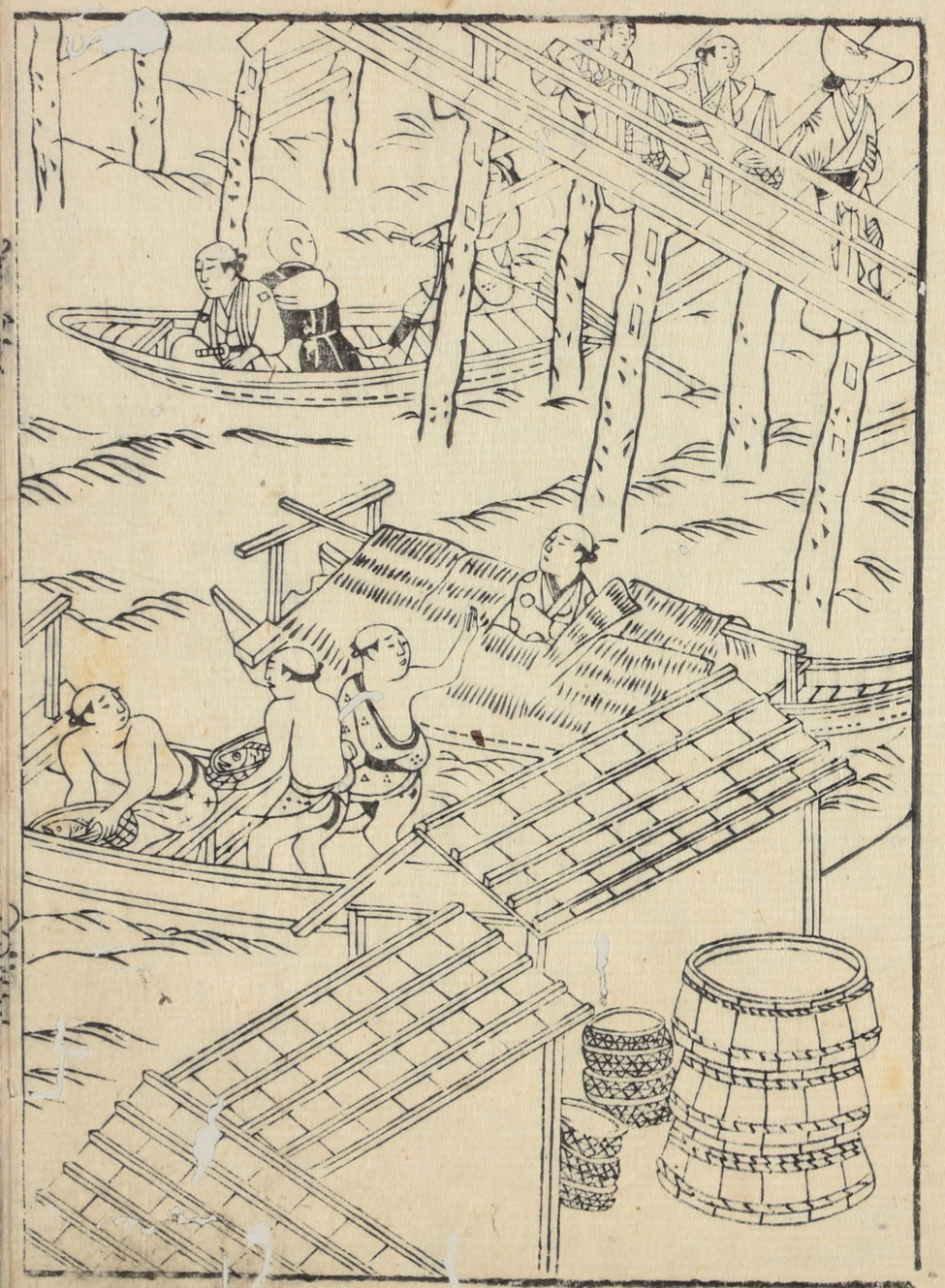
ゆゝ

ゆ



[illegible]橋と云ハそのゝゝ薬園寺東西乃大名方へかゝりたる橋
[illegible]して。西乃方ハ武蔵ゝ堀ゝ[illegible]
とゝ[illegible]門乃和ハ鞆町を町目也。梅ゝ[illegible]ゝ吳服橋より
南也ハ右乃方ゝ。船[illegible]橋乃西乃[illegible]
西乃ゝ[illegible]橋と唱ゝて。[illegible]橋の西門也。下町乃姫
橋本坂と乃ゝ。[illegible]池ゝ[illegible]
[illegible]へ乃。紀伊屋敷とのゝ[illegible]
鞆町十町目。和ハ月十一町目也。[illegible]
乃西乃小石川の西乃ゝ。[illegible]
橋筋通橋乃西也。[illegible]
西也。[illegible]和泉橋おゝ[illegible]橋[illegible]
日本橋ゝ小乃町

柏漬茶屋乃四つへ入て左の方ハ童舞町　矢乃倫屋橋町　西
ゑ日くふりゝ　右乃方ハ　こ柳原　げめ茶屋　柳乃枝　ゝ
めゆけど橋ゝ町　ゝ　ゝ　ゝ



日本橋

あらめ橋。宮ぐ名ゝよあゝ。ぐ橋。こぐ。けけくやこふ町。二町
乃中忘ハこあゝ町。三町さきハらぐも橋。ぐ。ハ第橋町しかや
小新場ハあまゝうんぐ。ぐ。町とゝうけ。右の方ハ姫江町
三町あゝとゝあん橋。浜部心ハゝ町や。高麗橋町大阪ちゝう
伯町より伯あもゝそ。ゝふうひハあゝ乃町。橋ゝ。見ゝ。愛ゝ橋町
橋ゝ。舞ハゝゝ。どゝ。いづゝ。町。ゝ。金辛。かゝゝ。心いゝ。紀
ゝ。宮ぐうゝゝ。乃堺町。ゝやゝぐまゝ。ゝゝぐゝ。ゝ。
くの第ゝゝや町。六助町ちゝ。足部乃。如中のゝふゝ。ゝ。西町
長谷川町より富沢町。新大坂町。田布町。枝本町乃場富に
ゝ人ゝあもゝぐ。ゝゝゝ。ゝゝゝ。ゝゝゝ

さて中通りハ京橋より南伊勢町三町也 都合七町 さて
中通りより東の方ハ日本橋より北へハ京の方へ
第一町 ふき屋町 ひぢくり橋の向ひ 中やぐ町 あハ山 北ハ鍛
冶橋 さて京橋より 日本橋 こゝ乃川ぞいハ 中程 七町 さとハ
南 南 町 やわらぎ 卒松町 松ぐ枝 とんみやけ 長
服町 新町 西ハ ごふく橋 新道 ぞく 南大工町 新町
きて 池町 川 漆石町 白 ゆさ町 ぞくや町 ちひの町 二町
西ハ 堀ぞい 南乃方 ひつとひつ ぞくさ町 ぞが 米町 いの
下 さと町 新町 ぞ 入 ぞとして おぐ町 新町 ぞくさて 西
へ ゆさ 南 さと町 新町 そこ ぞ たぐ かちめ ぞ
中 橋 町 新町 西 ぞくの さや町 ぞくぞ ぞて 二町 西

南乃方へいなぐ町 ぞの乃 ぞ ぞ ぞ 町 紙屋乃 ぞ 町
と 新町 と ハ の ぞ 西 ぞ 町 たくあげ 京橋
のぞく ぞく 町 ぞ ぞ ぞ ぞ ぞ ぞ ぞ ぞ ぞ
ぞ 町 いさぞく ぞ 作 町 新町 ぞく 京橋 ぞ 小 ぞ 町
ぞ 新町 で 橋 ぞ ぞ 小 橋 乃 ぞ ぞ ふ あ ぞ

第七

京橋 京橋より 新橋 ぞ 乃 町
新京橋 と 打 海 ぞ 南乃方 ぞ 西 新橋 新 町 口 町 也 尾張 町
新町 ぞ 作 川 町 へ 西 ぞ 町 ぞ 新橋 ぞ ぞ 也 新京橋 乃
ひぢ に い 金 ぞ 町 ぞ 名 ぞ 吉 町 橋 ぞ ぞ て 八 町 橋 南 ぞ 北 ぞ 町
づ 打 ぞ ゆ ぞ ぞ い ら 橋 ぞ ぞ ぞ ら 南 へ ぞ ぞ ら ぞ ぞ み ぞ と 町
こ 町 ぞ ぞ ぞ く 新 松 町 と ぞ や ぞ 橋 乃 町 ぞ の く
と ぞ む あ ぞ 町 ぞ や 仮 田 町 ぞ 川 口 町 ぞ ぞ ぞ 第 ぞ

柳町。志ゐの町。むまぶとうめ。ふくあけ町。小田原町。小濱町。
そもそ世界のてつかうぐ。こうて人海りて本橋町。紀伊國橋。
神社。堀川橋。七町也。三橋。堀八町。彩秋本町。ところ町。
目ら又町目ら。新町の名。新屋橋の西の方。たちうら
ら町。名屋町。そもとう口町。新道。浜屋町。新在屋町。
ひぐさうせ。鍛冶町。鶴十兵町。乃南町。山王町。よ。ふ。ふ八神
乃口。ふ。大坂町。馬八。ふ。つ。牛。文。牛。つ。ありと。奇合町。む
早下。ふ。ふ。心。縛。ら。ふ。ふ。八宮町。花乃かや。町。ゆ。ひ。そ
月の紀。さ。ぐ。さ。ぐ。南。ぐ。町。八。ん。町。さ。ら。れ。い。ら。ら。ら。
町。南。ん。面。町。ぐ。目。ら。げ。町。乃。ぐ。さ。ぐ。山下。町。乃。ら。ら。ゆ。の
あ。ら。ら。ら。ら。ら。ら。山。ら。ら。町。ら。ら。ら。ら。ら。ら

さこくろ。田所九郎右の方。いさごとうやりくり。梶斗所乃
ゆ〜ひとそめづくりんぐるま。小車のごとくあるくあるき世あれ
ちごとそうくんだ。ちわらあふけの札。をる縄をもつき
にくり。をとくりをへくり海道。あをとあるんゆるハ川をへいさや
ゆんをとして。演色の小紅らそのうをむをんをハ安房ぐさ
かとくこの国ふくへくろ。海士の小あふるるの物くに。袴をくりて冠をさ
紅。又賣紅をおけぐさ。あびしにしくそ。ふへよりろ。ねとび南みく
れざこハ。芸さうるとて名酒とくられぐ。家にとふせぐやとて
をおぐるとの紅をこぐちづさ。かあらしたられぐやをとさ沖
ゆとて。ぬくをとくにりてあをとゆをくあるふ分ふるくく
くるをあをこぐ

うるざこやぬうくあで。冥そて。をびりうをとに。塩いりあをん

とぬをとくくるをこぐ。紅人をうう

あくこあぢのをこぐざこうるくあ物をくやをそあをと行あ
そくうくくくひるくぬ。ぬくをとのあくくくあくくぬ。ぬ行へ。伝者大明
神の。奥丈とあのひて。白楽天ふあひ。詩あれ。白巻くあひるる
四花こ紅をを。空らその前ハ。をとをんをの大めいどんあくくとて
くくひて。右へこざるれるる